

2023年4月18日

**電通abic projectメンバーが執筆参加の書籍
「場所のブランド論 ～プレイス・ブランディングのプロセスと実践手法～」が本日発売**
－ 地区、都市、沿線、島など、「場所」を活性化するための入門書 －

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：樽谷 典洋）において、「場所」視点から地域課題の解決を目指す専門組織「電通abic project[※]」のメンバーが執筆に参加した書籍「場所のブランド論～プレイス・ブランディングのプロセスと実践手法～」（中央経済社）が本日発売されました。



中央経済社、A5判、208ページ、3080円（税込）

ISBN：978-4-502-45621-3

著者：若林宏保（横浜商科大学教授）、徳山美津恵（関西大学教授）、長尾雅信（新潟大学准教授）、
宮崎暢（電通）、佐藤真木（電通）
装丁：窪田新（電通）、浦中宏樹

本書は、地区、都市、沿線、島など、人々にとって身近な「場所」をブランド化し、地域活性化につなげる「プレイス・ブランディング」の入門書です。「場所」を人間中心にとらえてブランディングする「プレイス・ブランディング」の基本的な考え方を整理し、地域活性化実現のための4つのステージについて解説しています。また、豊富な事例と有効な手法を組み合わせ、初心者にも理解しやすいように構成されています。

自治体や企業・個人で街づくりに携わる人だけでなく、一般のビジネスパーソン、経営者、事業者など、これまで地域活性化に関わりがなかった人から、次世代を担う高校生や大学生に至るまで、「場所」視点から地域課題の

解決を目指す人に向けた入門書となっており、企業のブランディングやマーケティングにも活用することができます。

【目次】

- 第1章 場所とは何か
- 第2章 プレイス・ブランディングの定義とプロセス
- 第3章 場所の意味を探索する
- 第4章 場所の意味をつくる
- 第5章 協働する
- 第6章 共創する
- 第7章 共有価値を生み出す
- 第8章 場所の意味を共有する
- 第9章 メタバース時代のプレイスとは

※ 2005年に活動を開始。abicは「area branding incubation」の略語。マーケティング・ブランディングの専門知見をもつメンバーが所属し、産学協働を通じて「プレイス・ブランディング」による「場所」視点から地域課題の解決を目指すプロジェクト。
<https://www.dentsu.co.jp/abic/>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン 広報オフィス 電通広報部
松島、抱井
Email : koho@dentsu.co.jp

【書籍に関する問い合わせ先】

株式会社電通 電通abic project
宮崎、佐藤
Email : abic@dentsu.co.jp